

## 第218回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日時: 2008年12月26日(金) 13時~17時00分

会場: 東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室(14号館) [アクセス](#)  
[千葉県野田市山崎2641、電話: 04-7121-1501、交通: 東武野田線「運河」駅下車] 薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩15分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

### 講演主題: 微量分析におけるコンタミネーション防止の技術やノウハウ

LC分析を行う上で避けて通れないノウハウの一つにコンタミをいかに防止するかということがあります。今回は微量分析に焦点を当てて、前処理から応用までの講演を行います。これらのノウハウはLC分析全般におけるコンタミ防止や精度管理にもつながっていると考えます。

#### 講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)  
(日本ミリポア(株))金沢 旬宣
2. サンプル前処理フィルターの基礎と選定方法 (13:05~13:40)  
(日本ミリポア(株))水上 雄一郎
3. 移動相調製用純水によるコンタミネーションの要因と防止のノウハウ (13:40~14:15)  
(日本ミリポア(株))金子 静知
4. LC-MSに最適化されたオートサンプラー (14:15~14:55)  
(株)資生堂)城田 修
5. オートサンプラーにおける極低クロスコンタミネーションへのアプローチ (15:10~15:50)  
(株)島津製作所)増田 潤一
6. HybridSPE-PPTによる血中タンパク質の簡便な除去 リン脂質除去によるLC-MSイオン化抑制の低減について(15:50~16:30)  
(シグマ アルドリッチ ジャパン(株))石倉 正之
7. 総括: 微量分析におけるコンタミネーション (16:30~17:00)  
(東京理科大学薬学部)中村 洋

#### 参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員: 1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む): 3,000円、その他: 4,000円、学生: 500円(当日受付にてお支払い下さい)。

#### カタログ展示

1小間: 5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

#### 技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで忘年会を開催します。会費2,000円。

#### 申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして現れるページをプリントアウトしてご使用下さい](#))にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい。

参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

#### 申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:[hm\\_tanaka@isac.or.jp](mailto:hm_tanaka@isac.or.jp)]